

国見町過疎地域持続的発展計画の達成状況の評価について（令和 6 年度）

当町は、令和 4 年度に過疎指定を受け「国見町過疎地域持続的発展計画」（以下「過疎計画」という。）を策定しました。過疎計画は、「第 6 次国見町総合計画」に基づき策定されています。持続可能な地域社会の形成と地域資源を活用した地域活力のさらなる向上のため、計画に記載のある事業に取り組んでいます。

計画期間は、令和 4 年度～令和 7 年度までの 4 年間です。

○ 計画の評価に関する事項

過疎計画を実行性のあるものとして推進するため、毎年度、総合計画担当課において進捗状況を取りまとめ、外部有識者会議「国見町総合計画審議会」において、確認・評価することとなっています。

○ 基本目標・人口に関する目標

策定時人口（令和 2 年度）	現状人口（令和 6 年度末）	目標人口（令和 7 年度）
8,639 人	7,825 人（△139 人）	8,230 人

※令和 2 年度国勢調査

※福島県現住人口調査
（ ）内は令和 5 年度末との比較

※国見町人口ビジョン

○ 施策区分ごとの令和 6 年度進捗状況

1 移住・定住、地域間交流、人材育成

- ▶ 20 事業中 13 事業を実施（1 事業完了）。
- ・大坂オフィス整備や板橋南子育て住宅運営事業により、若い世代の移住者の受け入れ環境を整備しました。また、移住希望者お試し滞在宿泊費支援事業補助制度を新たに開始し、移住・定住希望者への支援拡大を行いました。
- ・C I（コーポレートアイデンティティ）を策定したことで、訴求力のあるブランディングを推進していきます。また、SNS を活用した町の生活情報や魅力、おすすめスポットなどを今後もフォロワー獲得、関係人口創出に向け定期的に更新します。

2 産業の振興

- ▶ 49 事業中 32 事業を実施（1 事業完了）。
- ・農業用・用排水路等の維持管理、修繕を行いました。農業用施設の老朽化に伴い、計画に基づいた大規模修繕や適正な維持管理を行っていきます。また、鳥獣被害対策事業として、複数地区で未収穫果樹木の一部伐採を行いました。
- ・小規模企業者の課題解決に資するため、企業訪問などを重ねて人材育成に係る支援補助金を新設しました。続けて、設備投資や魅力発信の支援を図ります。
- ・観光資源を掲載したガイドブックを整備しました。また、体験交流型の観光ツアーを

5 回開催し延べ 34 名の参加を得ました。

3 地域における情報化

- ▶ 10 事業中 8 事業を実施（1 事業完了）。
- ・デジタル技術の活用によって住民利便性の向上や庁内業務の効率化を図るため、全職員向けの D X 基礎研修会の開催や D X 推進プロジェクトチームを設置してグループワークを行いました。庁内イントラや総合行政システムの管理、システムのクラウド化など庁内システムの適正な維持管理を引き続き行っていきます。

4 交通施設の整備、交通手段の確保

- ▶ 40 事業中 24 事業を実施（1 事業完了）。
- ・歩行者及び車両の安全な走行を確保できるよう、町道等の適切な維持管理や改良・整備に努めました。
- ・住民の移動手段を確保するため、生活路線バスの維持補助やまちなかタクシー事業を行いました。また、まちなかタクシーの補完としてタクシー利用補助事業を新設しました。

5 生活環境の整備

- ▶ 33 事業中 26 事業を実施。
- ・老朽化した水道管の布設替え、公共下水道施設であるマンホールの点検を行い、災害時にも強い施設構築を目指しました。
- ・老朽化した消防水利やポンプ車の計画的な更新を図りました。また、既設防犯灯の L E D 化や町内会要望に沿った新設を進め防犯灯の L E D 化率は 63.5%となりました。

6 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

- ▶ 35 事業中 32 事業を実施（2 事業見直し）。
- ・妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を行うため、こども家庭センターを新設しました。相談環境の整備や転入者への全戸訪問を行うことで早期解決を図っています。
- ・子育て環境を確保するため、保育所や預かり保育等の運営、新生児誕生祝金の贈呈やペアレント・トレーニングの開催、子ども医療費の助成、子育て支援センター等の運営を行い、多角度からの支援を行いました。
- ・高齢者の生きがい活動の場づくりや障がい者の居場所づくりのほか、認知症サポーター養成講座を開催しました。その他、介護予防教室の運営、健康教室の実施等、どの世代の方も健康に生活していくための支援や場所づくりを引き続き行います。

7 医療の確保

- ▶ 3 事業中 3 事業を実施。
- ・町内の医療機関をはじめ、伊達地方や福島市の医療機関とも引き続き連携し、医療の確保に努めています。

8 教育の振興

- ▶ 40 事業中 33 事業を実施（6 事業見直し）。
- ・図書館図書管理システムの更新と他教育施設への導入拡大を行いつつ、子ども司書の育成や読書活動の推進を引き続き行っています。
- ・学校と地域の連携・協働を図り、子どもたちの郷土愛の醸成や中学校部活動の地域移行に取り組みました。また、くにみ観月台カレッジや総合型地域スポーツクラブを運営し、いつでも・だれでも学び・活動できる環境づくりを推進しました。

9 集落の整備

- ▶ 4 事業中 1 事業を実施。
- ・国見町まちづくり推進協議会を通して、町内のまちづくり団体へ事業費の助成を行いました。コミュニティ助成事業の活用支援など、今後もまちづくり団体や町内会と連携し地域コミュニティの維持に努めます。

10 地域文化の振興等

- ▶ 12 事業中 12 事業を実施。
- ・老朽化に伴う観月台文化センターホール等の改修工事を計画的に進めました。また、文化財センターの維持管理・運営を行いました。
- ・あつかし歴史館イベントや歴史ウォークなどを通して文化財の活用や歴史に関する情報発信に努めました。引き続き文化財の適切な維持管理や各団体支援を行いながら、地域の魅力向上や継承者担い手育成に取り組みます。

11 再生可能エネルギーの利用推進

- ▶ 8 事業中 2 事業を実施。
- ・再生可能エネルギーの利用推進について具体的な事業実施は行われていませんが、地球温暖化対策や環境負荷軽減を行う上で重要な取り組みであることから、施設の更新や改修にあわせて事業実施に向けた検討を進めています。

※事業ごとの実施内容は、別紙「国見町過疎地域持続的発展計画評価シート」分野別事業実施状況に記載しています。

○ 事業実施状況と過疎対策事業債の推移

年度	実施事業数 (完了含む)	進捗率（前年比）	過疎対策事業債 実借入額
令和6年度	190／254 事業	74.80%（+8.66 p）	125,000 千円
令和5年度	168／254 事業	66.14%（+5.90 p）	98,400 千円
令和4年度	153／254 事業	60.24%（－）	61,100 千円

○ 過疎対策事業債の充当状況について

・過疎債（ハード分）充当事業

(千円)

事業名称	事業費	財源内訳		
		過疎債	その他 特定財源	一般財源
4- 2 町道維持管理事業【繰越】	5,514	5,500	0	14
4- 7 町道 2092 号整備事業	28,380	28,300	0	80
4-15 町道 1 号整備事業【繰越】	1,595	1,300	0	295
4-17 町道 102 号整備事業	2,839	2,800	0	39
4-18 町道 3056 号整備事業	4,720	4,700	0	20
4-19 町道 3121 号整備事業	5,445	5,400	0	45
4-20 町道 3086 号整備事業	2,500	2,500	0	0
4-28 町道 2114 号整備事業	5,390	5,300	0	90
4-31 町道 5 号整備事業【繰越】	6,050	6,000	0	50
8-10 観月台文化センター改修事業	25,324	25,000	0	324
8-10 〃 【繰越】	34,632	34,100	0	532
計（繰越分を含む）	122,389	120,900	0	1,489

・過疎債（ソフト分）充当事業

(千円)

事業名称	事業概要	事業費	財源内訳		
			過疎債	その他 特定財源	一般財源
1- 3 板橋南子育て住宅運営事業	子育て世帯向け住宅の賃借料	4,704	1,500	3,120	84
1- 6 移住・定住者奨励金事業	移住者の住宅取得費の一部補助	6,990	2,800	2,250	1,940
5-20 老朽化公営住宅除却事業	公営住宅 2 戸の除却	4,620	3,300	997	323
6- 9 新生児誕生祝金事業	新生児の両親に祝金を贈呈	1,150	1,000	0	150
6-14 高齢者生きがいづくり事業	いきいきサロン、生きがいデイの実施	9,667	9,000	460	207
8-34 給食費無償化事業	幼稚園、小学校、中学校の給食費	43,379	31,500	0	11,879
10- 9 歴史を活かしたまち意識醸成事業	あつかし千年公園の管理	1,997	1,900	0	97
計		72,507	51,000	6,827	14,680